

被災地派遣職員支援 足柄茶の寄贈について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：伊坂重憲)と神奈川県福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、平成23年7月6日、東日本大震災の被災地へ派遣されている県警察職員を激励するために、神奈川県警察に対し足柄茶 11,520 本(100 万円相当)を寄贈しました。

1. 実施日	平成23年7月6日(水)
2. 場所	神奈川県警本部 7階生活安全部長室
3. 寄贈先	神奈川県警察本部
4. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
5. 寄贈物品	足柄茶(300ml缶) 11,520本

6. 概要 神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、神奈川県警察に対して、東日本大震災の被災地で活動続ける県警察の派遣部隊と、風評被害に苦しむ足柄茶の生産者を支援するため、震災以前に収穫・製造された足柄茶 11,520 本を寄贈いたしました。

寄贈式において、江崎生活安全部長は、「激励品で元気を出し、被災地のためにがんばりたい」と謝辞を述べられました。

これに対し、伊坂理事長は「懸命に活動続ける派遣部隊と、大変厳しい状況の足柄茶の生産者を応援したい」と挨拶し、「今後も被災地へ派遣される県警職員への支援を続けていきたい」と継続的な支援を約束しました。

この激励品寄贈式の模様は、読売、産経、毎日及び神奈川新聞でも紹介されました。



江崎生活安全部長(左)へ激励品の目録を寄贈

